

おどりがわ
小鳥川発電所の営業運転開始

2026年7月31日
関西電力株式会社

当社は本日、岐阜県飛騨市において、神通川水系の下小鳥ダムの河川維持流量^{※1}を活用した「小鳥川発電所（最大出力：510kW）」の営業運転を開始しました。

本発電所は、当社4番目の河川維持流量を活用した発電所であり、153箇所目の水力発電所となります。2019年11月に着工し、このたび営業運転を開始しました。なお、当社が新たに開発した水力発電所の営業運転開始は約4年ぶりとなります。

また、発電電力量は約257万kWh／年であり、一般家庭に換算して約820世帯分^{※2}の年間使用量に相当します。

水力発電は、国内の水資源を活用する純国産エネルギーであり、発電時にCO₂を排出しないゼロカーボン電源として重要な役割を担っています。当社は、ゼロカーボン社会の実現に向けて、引き続き、既設水力発電の安定的な運用と最大限の活用に取り組むとともに、新規開発についても推進してまいります。

※1：ダム下流の景観の保全等、河川環境の維持のために放流する必要流量

※2：当社従量電灯Aの平均的なモデルの使用量を260kWh／月として算定

以 上

別 紙：小鳥川発電所の概要

参 考：[下小鳥維持流量発電所（仮称）の新設計画について（2018年4月19日お知らせ済み）](#)

小鳥川発電所の概要

別紙

所在地	岐阜県飛騨市河合町
最大出力	510kW
発電電力量	約257万kWh/年
CO ₂ 削減量	約1,090t/年※
水系・河川名	神通川水系・小鳥川
形式	ダム式（維持流量発電）
有効落差	99.96m
最大使用水量	0.64m ³ /s

※2024年度の全国平均CO₂排出係数(0.423kg-CO₂/kWh)を用いて算定。

【外観写真】



【小鳥川発電所の位置】

